

# 自主事業報告書

公演名	ながくてアートフェスティバル2012
日時	平成24年10月20日(土)～11月4日(日) 会場により開催日時が異なる
事業の種類	自主創造活動事業
会場	図書館の喫茶店若草、絵のあるティータイム木もれ陽、音楽工房CON、山本邸、聚福院、nicorifactory、庭屋稀月、浅井屋製菓舗、恵工房、OrganiccafeMAHANA、名都美術館、ギャラリー隆、榎画荘ヴィーナス、たいようの杜、生活雑貨shopR2、鉄工房たね庵、cafeアルキペラゴ、名古屋手描友禅叶工房、株式会社ラック(美◆古布工房)、トヨタ博物館、中根原集会所、中根地区休耕田、りんこうぼう、タカヨシメキシコ美術館、愛・地球博記念公園、愛知県陶磁資料館、長久手市郷土資料室、長久手市中央図書館、長久手市文化の家
入場者数	約15,000人
<p>鑑賞者評価(スタンプラリーアンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく見に行っても留守で入るこのでできなかったところがあり残念!!開催期間中はみれるように!!</li> <li>・アート作品の展示会場にござらせ又はあぐりん村などを使用しても良いかな、と思う</li> <li>・アートフェスティバルに参加されているお店などが増えてきているようで毎年楽しみです。できたら店への矢印などをもう少し手前から出して頂くと嬉しいです</li> <li>・平日にしかまわれないので、もう少し平日もイベントがあると嬉しいです</li> </ul>	
<p><b>【担当者コメント】</b></p> <p>2007年に初めて開催されたながくてアートフェスティバル(以下、NAF)は、今回が6回目の開催となった。</p> <p>恒例となった作品展、ワークショップ「アートDEあそび」、まちなかアートの「どこでもアート」、「ギャラリー、アトリエ開放+アートなお店」、「ながくて芸術団」が行われた他、新たに「NAFアトリエマーケット」、「東日本大震災チャリティーアート展」が企画された。NAFアトリエマーケットは“小さなアトリエが集まったマーケット”という意を込められており、作家の手作り作品が数多く並んだ。チャリティーアート展は、昨年NAFで開催したチャリティーオークションを引継ぎつつも、より展示要素の強いイベントとして開催された。売上金は全てあしなが東北レインボーハウス建設基金へ寄付された。</p> <p>また、まちなかでのアートの特徴として、飲食店の参加数が増加したことが挙げられる。狙いとしては、会場めぐりを快適にするためである。</p> <p>さらに、集客のために、アートフェスティバルのマスコットキャラクターである“クーテシガーナ”を活用した。一つ目として、チラシやアートマップなど印刷物の表紙に掲載した。二つ目は、オープニングのガレリアコンサートにて、coba作曲の長久手応援ソング「クーテシガーナ」を披露。三つ目として、地元の田んぼに、高さ3メートルを超えるクーテシガーナの顔を象ったオブジェを公開制作した。</p> <p>昨年月に1度開催していたアートカフェサロンは、今年は開催しないこととした。誰でも参加しやすいカフェスタイルを取った会議であったが、実際には主に活動をする作家らの打ち合わせの場として活用され、本来あるべき目的を果たせなかった。これを受け、今年は催事の大まかな部門ごとに担当者を設け、それぞれの部門で会議を打ち合わせを進めるよう予定したが、担当者が少なく、負担が集中してしまい上手く運べなかった。このことから、次年度は担当者を多めに決め、運営していくことが求められる。</p>	

# 自主事業報告書

公演名	文化の家においてアート・プロジェクト ～保育園児向け、劇場で芸術を楽しむはじめの一步～	
日時/場所	平成24年11月8日(木) 10時開演 森のホール	
事業の種類	普及事業	
出演者	GONNA	
内容	市内にある6園の年長児を対象とした打楽器&マリンバによるコンサート	
席設定	222席	
入場者数	222席	
入場率	100.0%	
チケット発売日	—	
チケットの種類及び価格	—	
実質回収率	支出(B)に対する収入(D)の割合	0.00 %
<b>【鑑賞者評価】</b> (保育士アンケートから) ・普段あまりなじみのないマリンバや和太鼓の演奏が、新鮮であった。 ・子どもたちになじみ深い曲も多く、園に帰ってから子どもたちが「楽しかったー。」と言っている子が多くいた。 ・実際に舞台に立てたことが良かった。 ・全身を使ったパフォーマンスが良かった。		
<b>【担当者コメント】</b> 今年で3回目となる「おいでアート」は、長久手市立の保育園の年長児を対象に舞台上で繰り広げられる音楽を楽しんでもらうとともに、音楽鑑賞時のマナーも学んでもらうため開催している。出演は、1回目から一緒に取り組んできた打楽器集団「GONNA」。園児たちにはあまり馴染みのない巨大な和太鼓や、見たこともない小物系打楽器やアクロバティックに演奏されるマリンバ、身近にあるペットボトルやごみ箱を使っての演奏を楽しんでもらった。曲目も子どもたちに親しみのあるジブリやアニメソングのほかGONNAオリジナルの曲で子どもたちを引き付けた。 また子どもたちは手拍子で参加したり、歌を歌ったりして演奏に加わることができ、子どもたちの心に残る劇場デビューになったことと思われる。終演後には、バックステージツアーとして全園児舞台上へ移動し、照明と音響を使った舞台効果を体験してもらうことで、舞台の面白みを知ってもらった。 子どもたちが終演後の反応をみて、「おいでアート」をきっかけに気軽に文化の家を訪れる、また本格的な芸術に興味を持ってもらうことを目標にし、事業を継続していくことが大切であると改めて感じた。		

事業名	第14回長久手市文化の家フェスティバル パフォーマンス部門		
日時 / 場所	平成24年11月10日(土)、11日(日) 10時～18時(最終日は17時まで) アトリウム		
事業の種類	自主創造活動事業		
参加団体数	2団体		
内容	アトリエ Pas de Quatre (スタンプdeクラフト体験) タイカービングNana (ソープカービング体験・展示)		
入場者数	19人		
チケットの種類 及び価格	なし		
収入	フェスティバル参加費	2,000円×2団体	4,000円
<p>【鑑賞者評価(公演アンケートから)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのカービング！とっても楽しかった。</li> <li>・いつもと違う雰囲気で作れて楽しかったです。</li> <li>・楽しいひと時でした。</li> <li>・広場で気軽に体験ができた。</li> </ul>			
<p>【担当者コメント】</p> <p>前年度に展示部門で参加した団体がパフォーマンス部門に参加したため、今年度は2団体の参加となった。</p> <p>文化の家のオープンスペースを使って、美術・工芸作品の制作体験の場を設けるというのは、貴重な機会であり、来場者からも好評ではあるが、参加団体の増加に結びついていない。</p> <p>実行委員会では、「パフォーマンス部門」の名称がわかりにくいこと、舞台部門や展示部門との違いがはっきりしないことが、参加団体が増えない原因ではないかとの意見があった。また、美術・工芸作品の制作体験だけでなく、演奏や舞踊など様々な分野を受け入れるよう提案があった。名称変更も含めて検討していきたい。</p>			

事業名	第14回長久手市文化の家フェスティバル 展示部門
日時 / 場所	平成24年11月7日(水)～11日(日) 10時～18時(最終日は17時まで) 展示室
事業の種類	自主創造活動事業
参加団体数	2団体
内容	中島滋絵画教室 (水彩画・油彩画) なごや東絵画サークル (絵画)
入場者数	265人
チケットの種類 及び価格	なし
支出	舞台部門と共通
<p><b>【鑑賞者評価(公演アンケートから)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見やすくて良いのですが、もう少し並べ方にメリハリがあってもいいかなと思いました。</li> <li>・絵の説明をかいてほしい。</li> </ul>	
<p><b>【担当者コメント】</b></p> <p>前年度に参加していた団体の1つがパフォーマンス部門の参加となったため、2団体の参加となった。</p> <p>参加団体の多い舞台部門に比べ、以前から参加団体の少なさが課題となっているが、参加団体の増加に結びついていない。また、展示の運営方法についても、レイアウトやキャプション、展示物の監視など、本来であれば、参加団体で話し合っ方針を決めるはずではあるが、事前に集まって準備することができず、それがなされなかった。</p> <p>展示部門が、文化の家で創作活動をする利用者に関心をもたれるようにしていきたい。</p>	

事業名	第14回長久手市文化の家フェスティバル 舞台部門	
日時 / 場所	平成24年11月10日(土) 13時開演 風のホール	平成24年11月11日(日) 12時30分開演 森のホール
事業の種類	自主創造活動事業	
参加団体	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 箏曲あけぼの会</li> <li>2. 長久手室内楽クラブ</li> <li>3. ギターアンサンブルながくて</li> <li>4. 長久手児童合唱団</li> <li>5. 女性アンサンブル ベルリオ</li> <li>6. スマイル☆キッズ</li> <li>7. Kanani Hokulea</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 津軽三味線 夢絃塾</li> <li>2. 吹奏楽団アンサンブル・フォレスト</li> <li>3. グレイスフル</li> <li>4. せとぐちバレエ</li> <li>5. 日本舞踊紫泉会</li> <li>6. ナオミダンススクール</li> <li>7. ニューセンチュリーコーラスNagakute</li> <li>8. 長久手民謡クラブ“響”</li> <li>9. Me Too!</li> </ol>
内容	箏曲、弦楽四重奏、ギターアンサンブル、児童合唱、女声アンサンブル、キッズステージ、フラダンス	三味線合奏・唄・踊り、吹奏楽、ジャズダンス、クラシックバレエ、日本舞踊、フラメンコ・タップダンス・ジャズダンス・バレエ、コーラス、民謡唄・三味線合奏、子供英語劇・歌
席設定	202席	595席
入場者数	のべ220人	のべ802人
<p>【鑑賞者評価(公演アンケートから)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とてもすばらしいのに、最初は聞く人が少なくもったいないと思いました。</li> <li>・子供から年配の方まで色々な部門で楽しませていただきました。</li> <li>・いつも楽しませていただきありがとうございます。みなさんの高度な技術はすごいです。</li> <li>・席近くの方はボランティアですか。ごこちなかったです。</li> </ul>		
<p>【担当者コメント】</p> <p>文化の家利用者による日頃の練習の成果発表と利用者間の交流を目的としたフェスティバル。舞台部門には、16団体が参加し、2つのグループにわけ、2公演を行った。昨年度は、反響板の使用の有無や参加希望日の調整により2日間3公演となったが、経費や労力的にも負担が大きかった反省を踏まえ、舞台形式を固定し2公演の実施となった。</p> <p>今回の実行委員会では、参加者から舞台準備や観客誘導など、積極的に自分たちで行おうという声があがるなど、意欲的に取り組もうとする姿勢が見られた。しかしながら、小規模の組織の参加団体が多く、実際のスタッフの手配や、メンバーまで連絡が行きわたらないという課題があった。</p> <p>来場者は、出演団体により偏りがあり、イベント全体を楽しむような集客には結びついていないところがある。参加団体で意見を出し合い、できるだけ自主的な運営ができるようなフェスティバルを目指していきたい。</p>		

# 自主事業報告書

公演名	長久手フィルハーモニー管弦楽団市制記念演奏会
日時 / 場所	平成 24 年 11 月 18 日 (日) 15時30分開演 森のホール
事業の種類	提携事業
出演者	長久手フィルハーモニー管弦楽団 指揮 寺島 康朗
内容	ベートーベン 交響曲第9番 ニ短調作品125「合唱付き」 シューベルト 交響曲第7番 ロ短調「未完成」
席設定	600 席
入場者数	548 人
入場率	91.3 %
チケット発売日	一般 9 月 8 日 フレンズ 9 月 1 日
チケットの種類及び価格	前売り800円、フレンズ700円 当日1,000円(全自由席)
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・合唱の時はゾクゾクするほどの迫力で、まさに歓喜に満ちていました。</li><li>・一般市民の参加というのが地域振興として良かったように思います。</li><li>・子どもが楽しめたり体験したりできるといい。</li></ul>	
【担当者コメント】 長久手フィルハーモニー管弦楽団の第18回定期演奏会は、長久手市の市制を祝した市制記念演奏会を兼ねて行われた。 ベートーヴェンの第9を合唱するために、一般の人々による合唱団が結成された。合唱団の募集や連絡窓口、練習場所の確保など、基本的には全て楽団主導でやり遂げたことは、提携団体としてとても心強く感じる。 話題性と、出演者の多さもあり、前売券は完売し、チケットを求める問合せが相次いだ。 ただ、当日のアンケートから、何件か演奏者の練習不足を指摘する記載があった。年に2回の定期演奏会を行っていることと、合唱団結成により、練習時間が不足したことが表れてしまったと思われる。	
備考	

# 自主事業報告書

公演名	名演への招待シリーズ12 ステイーヴン・イッサーリス チェロ・リサイタル “Beethoven Day” withロバート・レヴィン (フォルテピアノ)
日時 / 場所	平成 24 年 11 月 25 日 (日) 15 時00分開演 森のホール
事業の種類	鑑賞事業・育成事業
出演者	ステイーヴン・イッサーリス(チェロ)、ロバート・レヴィン(フォルテピアノ)
内容	【ベートーヴェン・プログラム】 ヘンデルの“ユダス・マカベウス”の主題による12の変奏曲ト長調 ホルン・ソナタ ヘ長調op.17 (自身によるチェロ編曲版) チェロ・ソナタ第1番 ヘ長調 op.5-1 モーツァルトの「魔笛」の“娘か女か”の主題による12の変奏曲 ヘ長調 チェロ・ソナタ第3番 イ長調 op.69 J.S.バッハ:「われ汝を呼ぶ、主イエス・キリストよ」BWV639(アンコール)
関連企画	キッズプログラム:子どものためのコンサート～イッサーリスさんからのおくりもの 日時 2012(平成24)年11月24日(土)14:30開場 15:00開演(70分/通訳付き) 会場 長久手市文化の家 風のホール(182席) 出演 ステイーヴン・イッサーリス(チェロ)、ロバート・レヴィン(フォルテピアノ) 小関道代(朗読/劇団ジャブジャブサーキット) 曲目 朗読&コンサート(ベートーヴェンの作品を中心に) 特典 事前にベートーヴェンに関する絵や作文を提出した子どもにイッサーリス氏のメッセージとサインが贈られた。
席設定	500席 ※キッズプログラム 182席
入場者数	344人 ※キッズ 181/182席(完売)
入場率	69% ※キッズ 99.5%
チケット発売日	一般 9月 8日 フレンズ 9月 1日
チケットの種類及び価格	◎コンサート 前売一般5,000円、フレンズ4,500円、学生2,500円 当日一般・フレンズ5,500円、学生3,000円(全指定席/未就学児不可) ◎キッズ 子ども(中学生以下)500円、大人1,000円(全自由席/3歳以下不可)
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体で表げんできて、すごいと思いました。私もイッサーリスさんのような人になりたいです!!(9歳/女の子)※キッズプロ</li> <li>・子どもさんとともにこれだけのコンサートを企画していただき幸せでした(65歳/女性)※キッズプロ</li> <li>・一昨年聞けなかったのが今回来日して下さってとての嬉しかった(40歳/女性)</li> <li>・演奏者が楽器そのもののような気がして、おしゃべり、歌、ダンスなどとても素敵な音の光景を見せていただきました(39歳/女性)</li> <li>・途中入場が気になった(数名)ほか</li> </ul>
【担当者コメント】	2年前来日中止となった世界的チェリストのイッサーリスによる公演を行った。イッサーリスは、作品への深い洞察とこだわりの選曲で知られ、教育プログラムにも熱心で複数の著書を出しており世界中で翻訳されている。長久手公演では、アーティストのそうした多様性に着目した。今回の公演は、「Beethoven Day」と題した世界ツアーの一環で日本では東京と長久手公演のみであった(キッズプログラムは長久手のみ)。注目すべきはフォルテピアノを持ち込み、その第一人者でもあるロバート・レヴィン氏を招きベートーヴェン時代の響きを再現したことであった。演奏はまさに世界第一線の名手による丁々発止のスリリングさと豊かな表現力で聴衆をベートーヴェンの深遠な世界へと誘った。また前日に行われたキッズプログラムでは、イッサーリスが書き下ろしたベートーヴェンのエピソードが朗読され、トップアーティストと子どもたちとの交流がフレンドリーな雰囲気の中で行われた。

# 自主事業報告書

公演名	長久手市文化の家×三重県文化会館合同プロデュース 「THE MISHIMA WORLD 三島ル。」
日時 / 場所	平成24年12月1日(土)、2日(日)14時開演 風のホール
事業の種類	鑑賞事業
出演者	shelf、第七劇場
内容	演劇
席設定	101席
入場者数	12/1 83人 12/2 90人
入場率	86 %
チケット発売日	一般 10月 13日 フレンズ 10月 6日
チケットの種類及び価格	一般:前売2,000円 当日2,500円 フレンズ:前売1,800円 当日2,500円 学生:前売・当日1,000円 三重県公演との通し券 3,000円 学生1,500円 全自由席
<p>鑑賞者評価(当日公演アンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近三島の戯曲を読み始めたが、少々難解なところもあったが楽しめる内容となっていた。</li> <li>・班女は、とてもスタイリッシュでした。特に登場人物のテンションの違いがはっきりしていたのが目を引きました。弱法師は、最初困惑しましたが、だんだんテキストのうまみを感じられた。</li> <li>・狂気じみた迫力が伝わってきた。ちょっと怖かった。おもしろかった。</li> <li>・shelfはテキストの持つ力がこらに伝わってくるようでした。第七劇場は、絵画的で、資格的に楽しめました。</li> </ul>	
<p>【担当者コメント】</p> <p>当館と三重文化会館との共同企画として立ちあがった本企画、きっかけは2010年に鳥取県で開催された「鳥の演劇祭」で、イベントに出演していた劇団shelfと第七劇場が、偶然同じ演目『班女(三島由紀夫)』を上演していたところを、両館のスタッフが見かけたのである。</p> <p>演目はいずれも三島由紀夫の短編能楽集から選ばれており、1演目30分～50分程度の長さで行われた。どちらの劇団も三島由紀夫の作品を扱いながらも、演出の仕方が大きく異なり、見応えのある演劇となった。shelfは“静”、第七劇場は“動”と表すことができたと思う。</p> <p>また、長久手公演の次週には、三重県文化会館で演目を変えて上演され、特に『班女』は長久手公演で演じていない方の劇団が演じたため、両会場の通し券を購入した方にとっては、さらなる楽しみがあったと思う。どちらも舞台美術を館に合わせて制作していたところも、見どころであった。</p>	
<p>備考</p> <p>ガレリアコンサート(ガレリアパフォーマンス)を11/6、13にアトリウムで開催 三重県公演:12/8、9</p>	



# 自主事業報告書

公演名	フレンズのつどい Part.28 クリスマスコンサート&ティーパーティー 「ヨーロッパ街角楽団・フィドルの世界 バイオリンに魅せられて！」
日時 / 場所	平成 24 年 12 月 2 日 (日) 14 時開演 森のホール
事業の種類	住民企画事業
出演者	悠情楽団(バイオリン:悠情、ピアノ・ギター:山下力也、鍵盤ハーモニカ・ピアノ:吉田絵奈、ベース:福田義明、ドラム・パーカッション:砂掛裕史郎) 西田克義・佐藤晴香ペア(社交ダンス)
内容	第1部 戦場のメロークリスマス、White X'mas、La Llama(ラ・ラマ)、人生のメリー ゴーランド、ロンドンデリー エアー、情熱大陸、花の季節、北の国から、 Winter Wonderland、White precious air(思い出)、アイリッシュ ポルカ メ ドレー、ハンガリー舞曲第5番 第2部 ティーパーティー
席設定	200 席
入場者数	279 人
入場率	139.5 %
チケット発売日	一般 10 月 13 日 フレンズ 10 月 6 日
チケットの種類及び価格	フレンズ 1,200円 一般 1,500円(全自由席)
実質回収率	支出(B)に対する収入(D)の割合 — %
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	<ul style="list-style-type: none"><li>・クリスマス曲が随所に隠れていて楽しめたし、ダンスも息がピッタリで拍手も忘れて見とれました。</li><li>・アットホームで全員が参加できるのが良かった。</li><li>・演奏とダンスのコラボが見られて、お得なコンサートだった。気持ちが明るくなりました。</li><li>・交流会で出演者全員と話しができて楽しかった。味のある企画をありがとう！来年も楽しみにしています。</li></ul>
【担当者コメント】	公演の企画から運営までのほとんどすべてをフレンズスタッフが手掛ける恒例の「フレンズのつどい」。 28回目の今回は、フィドルを中心としたバンドアンサンブル「悠情楽団」と社交ダンスの「西田克義・佐藤晴 香ペア」のコラボレーションを企画した。 クリスマス仕様のホワイエ飾り付けや、なじみのあるクリスマスソングからオリジナルソングまでの幅広い演 奏、そして優雅で情熱的なダンスにより、お客様には一足早いクリスマス気分を楽しんでもらえたのではな いか。 第1部では悠情楽団の演奏パート、社交ダンスのパート、演奏とダンスのコラボレーションパートを織り交ぜ ることで、両者それぞれの魅力を活かした公演となった。第2部の交流会では、出演者・お客様・フレンズ スタッフが舞台上に集い、和やかに会食を楽しみながら交流を行った。 お客様もフレンズスタッフも楽しめる企画を運営していけるように支援していきたい。

# 自主事業報告書

公 演 名	愛知県立芸術大学オペラ公演 歌劇「ヘンゼルとグレーテル」
日 時 / 場 所	平成24年12月8日(土)17時開演 9日(日)14時開演 森のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	【8日(土)】ヘンゼル／石原まりあ(院1年)・竹花摩耶(院1年)、グレーテル／高橋尚美(院1年)・秋山真未(院2年)、父／植嶋邦臣(院1年)、母／安田裕美(院2年)、眠りの精／金田一帆南(院2年)、露の精／梶原友実(院1年)、魔女／橋本慧(院2年) 【9日(日)】ヘンゼル／紙野沙季子(院2年)・石原由香子(院2年)、グレーテル／中川麻梨子(院1年)・奥村育子(院1年)、父／頃安遥(院2年)、母／杉浦愛美(三女)、眠りの精／藤瀬愛(院1年)、露の精／正木実季(院2年)、魔女／大久保亮(院2年)
内 容	歌劇「ヘンゼルとグレーテル」(日本語上演) 原作:グリム童話『ヘンゼルとグレーテル』 作曲:エンゲルベルト・フンパーディンク 台本:アーデルハイト・ヴェッテ
席 設 定	505 席
入 場 者 数	8日 403人 9日 468人(完売)
入 場 率	8日 79.8% 9日 92.6%
チケット発売日	一般 10月 13日 フレンズ 10月 6日
チケッ トの 種 類 及 び 価 格	全指定席 A席:2,000円 B席:1,000円
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小2の子どもを連れてきました。いつもは演劇や音楽等のコンサートへ行くと、途中でロビーに行ってしまうのですが、おもしろいと言って観ていました。小学生向けに公演していただきたいくらいです。(30歳代・女性)</li> <li>・小5です。私もこんなお台にでたいです。がんばります！グレーテルがかわいかった！(市外・10歳代・女性)</li> <li>・舞台・美術・衣裳がとてすてきでした。(20歳代・女性)</li> <li>・日本語でわかりやすく良かったと思います。(50歳代・女性)</li> <li>・日本語公演は正直再考いただきたいことです。原作の感興を損なう場合が多く、また観客に歌詞が伝わりにくいです。(市外・60歳代・男性)</li> </ul>	
【担当者コメント】	
<p>「ヘンゼルとグレーテル」はグリム童話が原作となってオペラ。大学院生のキャストに加え、今年度も大学管弦楽団と合唱団そして陶磁専攻が作成したお菓子の家なども舞台セットが公演に華を添えた。原作が広く知られている童話であること、日本語上演であること、そして公演だけではなく舞台セットも楽しめることが、普段オペラ公演になじみのない人でも足を運びやすいポイントである。実際に今年度は例年に比べ、中学生以下の入場が多かったように思われる。しかしながら、チケットの売れ行きは昨年度に引き続き伸び悩み、8日公演分は完売することができなかった。今年度はプロセニウムが前に設置されたため、例年より多くの見切れ席ができてしまい、一部のお客様と大学側との間で「舞台があまりにも見えない」というトラブルが発生した。</p> <p>今年度から、文化の家からの負担金をなくしチケット収入は大学側に入れる方式へ変更となった。</p>	

# 自主事業報告書

公 演 名	ダンボール遊具であそぼう！ in 長久手市文化の家
日 時 / 場 所	平成24年12月15日(土)12時から17時まで 12月16日(日)10時から15時まで アトリウム及び北ギャラリー
事 業 の 種 類	提携事業
出 展 者	愛知県立芸術大学美術学部1年生
内 容	ダンボール製遊具の展示
入 場 者 数	15日900人、16日600人
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	入場料無料・整理券なし
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
アンケート実施せず	
<b>【担当者コメント】</b> 「愛知県立芸術大学メディアデザイン企画展」のとりまとめをしている愛知県立芸術大学の柴崎准教授からの要望を受け開催したもちこみ企画。1階アトリウム・北ギャラリー及び2階受付窓口付近にダンボール製の遊具を置き、子どもたちが遊んだ。同日に子ども向けの自主事業を開催していたことから、集客があがったと見られる。普段は閑散としているギャラリーが多くの子どもたちでにぎわっていた。 それぞれの遊具に2人以上の学生が付き添っていたため、安全面は十分に確保されていたようである。展示していた遊具は、希望のあった市内の保育園へ引き取られた。 ギャラリーの有効活用として、今後も同様の事業を展開していきたい。	
<b>【備考】</b>	

# 自主事業報告書

公演名	創造スタッフプロデュースクリスマスコンサート「おくりもの」
日時 / 場所	平成 24 年 12 月 15 日 (土) 11時、14時30分開演 風のホール
事業の種類	普及・啓発事業
出演者	創造スタッフ(日置智美(フルート)、高木俊彰(チェロ)、田口美郷(パーカッション)、山田亮(ピアノ))、伊藤早紀(うた、朗読) 橋寛憲(美術) 協力:琴塚吉太郎、さち(劇団いなほのかほり)、長久手音楽団、 座★NAGAKUTE
内容	朗読劇
席設定	280 席
入場者数	午前244人、午後233人
入場率	85.2 %
整理券配布日	平成24年11月2日(金)
チケットの種類及び価格	無料(整理券)
<p>鑑賞者評価(当日公演アンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・すごく優しい気持ちになれた素敵なショーでした。</li><li>・たくさんの楽器であんなに楽しそうに演奏ができてすごいなあと思いました。</li><li>・困った人を助ける、思いやる心、ポカポカになりました。ステキな音楽ステキな朗読ありがとうございました。</li><li>・とてもよかったです。子どもがいても気軽に参加できました。大人も楽しめました。</li><li>・子ども対象のコンサートなので、ごはん、おやつの時間をさけてもらいたい。プログラムにふりがなをうってほしい。</li></ul>	
<p><b>【担当者コメント】</b> 文化の家創造スタッフが企画し、出演する毎年恒例となっているコンサート。昨年は森のホール(400席設定)で満席であったことから、今年の風のホールでは午前と午後の2公演実施することとした。演目は世界の童話の「グリとグラのおくりもの」をもとに創造スタッフらが書き換えたもので、昨年の「しらゆきひめ」程ではないものの、整理券は事前に配布予定枚数を配り終えた。 ゲスト出演は朗読・うたの伊藤氏のみだが、他に、協力出演として多数の方に出演していただいたことは、大変素晴らしいことだと思う。 また、今年は一足早いクリスマスプレゼントとして、美術系創造スタッフが公演中にホワイエを飾り付け、終演後の鑑賞者を賑わせた。 問題点として、自主事業のバンドフェスティバルが翌16日に控えていたため、リハーサル等のスケジュール調整が困難であったことが挙げられる。</p>	

# 自主事業報告書

事業名	第10回長久手市文化の家バンドフェスティバル
日時 / 場所	平成24年12月16日(日) 13時開演 森のホール
事業の種類	自主創造活動事業
出演者	ROPs始め10バンド(43名)1バンド欠場
内容	1.ROPs 2.KURIBANKO 3.Tooth Picks 4.村瀬徹也 5.Biceps 6.SnowDrop 7.DAIWA SOUL 8.Novice 9.VAXIM 10.クラブ☆ブロンソン 11.合同セッション
席設定	400席
入場者数	計239名
チケットの種類及び価格	入場無料・整理券なし
<b>【鑑賞者評価(鑑賞アンケートから)】</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・参加しているバンドのレベルの高さにビックリした。</li><li>・毎年楽しみにしているのでずっと続けてほしい。</li><li>・インタビューがよかった。</li></ul>	
<b>【担当者コメント】</b>	
<p>第10回目を数える今回のバンドフェスティバルには、11バンドから応募がありました。</p> <p>今回は、過去の参加団体への案内を廃止し、窓口で直接参加者を募る方法をとったため初参加のバンドが4バンドと若返りを果たすことができたが、初参加や参加回数が少ないバンドが多いせいか実行委員会を欠席する等のトラブルが例年よりも多かった。</p> <p>しかし、どのバンドも会場監視や受付等各自役割を積極的に行っており住民参加の意識が最終的には高まったようにうかがえる。また、各自連絡先を交換して開催に向けての準備を進める等主体的な運営やネットワーク作りを行っていたため、十分とは言えないがマスタープランの目的を達成しつつある。</p> <p>今後とも、新たな参加者を募りながら利用者間の交流を図り、住民参加の意識を高め、主体的な運営やネットワーク作りを促進していく。</p>	
備考	ヤマハサウンドテック株式会社よりデジタル音響卓とスピーカーシステムをデモ機器として借用した。

# 自主事業報告書

公演名	提携事業 ターンツハーズ運動40年・無形文化遺産指定記念 「民俗芸術名人・伝統保持者らによるハンガリーの踊りと音楽」
日時 / 場所	平成 25 年 1 月 17 日 (木) ① 14時 ② 19時 風のホール
事業の種類	提携事業・鑑賞事業
出演者	ハルモシュ・ベーラ(ヴァイオリン)、ラーザール・アティツラ(踊り)、 大塚奈美(踊り)、ラーニ・ジェルジュ(三弦ヴィオラ・バグパイプ・コブザ)、ハ ヴァシュレーティ・パール(コントラバス・ガルドン・テケレー・太鼓)
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セーク村の音楽と踊り(チャールダーシュ、ネージェシュ、ラツシュー)</li> <li>・ハンガリーの民俗芸術復興運動「ターンツハーズ運動」</li> <li>・バグパイプ、テケレー演奏</li> <li>・メゼーシュグの踊り(コルチョシュ、ラツシュー、セケーシュ、シューリユー・チャールダーシュ)</li> <li>・サトマルの音楽(ハルガトー、ヴェルブク、チャールダーシュ)</li> <li>・モルドヴァの歌と音楽</li> <li>・ジメシュの哀歌、ラツシュー及びシエベシュ・マジャロシュ</li> <li>・カロタセグ地方の生活と民俗文化</li> <li>・カロタセグの踊り(レゲーニエシュ、チャールダーシュ、サポラ)</li> </ul>
席設定	400 席
入場者数	200 人 (①130名 ②70名)
入場率	50 %
チケット発売日	一般 12 月 8 日 フレンズ 12 月 1 日
チケットの種類及び価格	① 昼の部 ア 前売 一般:2,000円 フレンズ:1,800円 学生:1,500円 中学生以下:1,000円 イ 当日 一般:3,000円 フレンズ:3,000円 学生:2,000円 中学生以下:1,200円 ② 夜の部 ア 前売 一般:2,500円 フレンズ:2,300円 学生:2,000円 中学生以下:1,500円 イ 当日 一般:3,500円 フレンズ:3,500円 学生:2,500円 中学生以下:1,700円
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
アンケートなし	
<b>【担当者コメント】</b> ハンガリーのトランシルヴァニア地方の伝統芸術を研究する大塚奈美氏による企画で、現地直送の文化を届けるコンサートを行った。なかでも注目されたのは、自らの文化を見直して復興する「ターンツハーズ運動」が40年を迎え、ハンガリーの文化の重要な位置を占めており、とくに若者たちのなかでアイデンティティを形成している点で、現在の日本の現状と比較すると考えさせられるものがある。パフォーマンスを繰り広げた「名人」たちは、ハンガリーの大地の匂いや生活の中で育まれた空気感をそのまま聴衆に伝え、その独特の表現や音色に圧倒された。文化の本質に触れる貴重な機会となった。	

# 自主事業報告書

公演名	第9回吹奏楽フェスティバルinNAGAKUTE
日時 / 場所	平成 25 年 1 月 27 日 ( 日 ) 13時00分開演 森のホール
事業の種類	普及・啓発事業
出演者	長久手中学校、南中学校、愛知県立長久手高等学校、栄徳高等学校 愛知県立大学吹奏楽サークル、響【ゲスト】ホルンアンサンブル 計7団体(合計230名)
内容	【第1部】団体別演奏 【第2部】合同演奏 指揮:長尾洪基 海を越えた握手(J.P.スーザ作曲/F.フェネル編曲) クーテシガーナ(coba作曲/長尾洪基編曲) アルメニアンダンス(A.リード作曲)
席 設 定	517 席
入 場 者 数	545 人
入 場 率	105 %
整理券配布日	平成24年12月8日(土)
チケットの種類及び価格	無料(整理券)
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・合同演奏の迫力はすごいですね。ぜひ毎年続けていただきたいです。</li><li>・皆さん、とても楽しそうに演奏していてよかった。</li><li>・栄徳高校のステージドリルが良かった。ゲスト演奏の時の舞台袖にいる出演者がうるさかった。</li><li>・もっと県芸の学生に参加してほしい。</li></ul>	
【担当者コメント】 合同演奏の出演者数は昨年とほぼ同じ人数の230名となり、舞台上にピアノがあったり、ドラムセットを3セット使用したりと、面積が限られたが、全員乗ることができた。 今回のゲストは、愛知県立芸術大学の打楽器専攻生のユニット「ホルンアンサンブル」に出演していただいた。長久手市を拠点に活動する音楽団体を募集する本イベントにおいて、県立芸大が昨年に続き2度目の参加となったことは、喜ばしいことである。今後も良好な関係を築いていきたい。また、県立芸大准教授の竹村先生も加わってくださり、出演者を対象にホルンアンサンブルについての吹奏楽クリニックを行った。 合同演奏の曲目については、今年度7月にcoba氏により長久手応援ソングが誕生したことがあり、その中から「クーテシガーナ」を披露することとなった。各団体代表者や合同演奏指揮者の長尾氏とで曲目決めの打ち合わせをする際、4曲の長久手応援ソングをどのようにアレンジするか議論になったが、曲を初めて聞く人にも分かりやすいようにと、1番人気の1曲のみ演奏することとした。 また、団体別演奏のステージでは、栄徳高校が本イベント初のマーチングにチャレンジした。舞台の広さが求められることから、通常の団体別演奏の舞台から、迫りを1つ上げ、合同演奏の舞台の広さで演奏した。 アンケートからは、マーチングは大変好評であったが、特例をどこまで認めるかは、検討の余地がある。	

# 自主事業報告書

公 演 名	長久手演劇王国Vol.13 日本劇作家協会東海支部プロデュース Jr.ライト級チャンピオンタイトルマッチ「劇王X～天下統一大会～」
日時／場所	平成25年2月9日(土) Aプログラム/14時開演 Bプログラム/18時30分開演 平成25年2月10日(日) Cプログラム/14時開演 Dプログラム/18時30分開演 平成25年2月11日(月・祝) 決勝戦/14時30分開演 風のホール
事業の種類	鑑賞事業
出演者	Aプロ:杉本明朗「3匹で斬る!」、平塚直隆「イオン」、樋口ミュ「Hurray」、玉井江吏香「葉桜す。」 Bプロ:柴幸男「つくりばなし」、遠藤雄史「絶望への道は善意で敷き詰められているそうだ」、真白ねづみ「ひとりぎめ」、鈴木友隆「くわれて幸せ」 Cプロ:品川浩幸「卒アル」、納谷真大「失うモノを手に入れる」、中山朋文「sixx」、福田修志「ノイズ」 Dプロ:鹿目由紀「上中下」、佐藤茂紀「奥羽行進曲!」、櫻井智也「鬼籍の人」、武田宜裕「住めば都の宿、カリ、カリ」 ゲスト審査員:坂手洋二、わかぎゑふ、安住恭子、小堀勝啓(9日のみ)、木全純治(10日のみ)、諏訪哲史(11日のみ)
内 容	投票型短編演劇コンテスト
席 設 定	1,456席(車椅子含む)
入 場 者 数	1,326人(トークライブ入場者数268人)
入 場 率	91.07%
チケット発売日	一般 12月 8日 フレンズ 12月 1日
チケットの種類及び価格	1公演券前売:一般2,000円 学生1,500円 1公演券当日:一般2,200円 学生1,500円 5公演通し券:一般6,500円 学生3,500円 (全自由席)
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	<p>・こんなにきっちりシステム化され盛沢山な内容とは想像しておらず驚きました。20分という時間は短いのではないかと思っていたのですが、まったく違って、一本一本濃淡のあるしっかりと作り込まれた作品で演劇の力を感じました。個人的には、人がしゃべる言葉に強く惹かれました。(50代男性)</p> <p>・全国の小劇団を見ることは、それほどできることでないのでも有意義なイベントだと思います。(30代女性)</p> <p>・脚本家を始め演劇活動をめざす人たちにとって非常に刺激となる意義ある大会。これからどんどん発展していつ、プロへの確実な登竜門になることを期待する。(40代女性)</p> <p>・これだけ制限のある中でも芝居がおもしろく作れるものかと驚いた。有る意味、演劇の真髄が垣間見れる取り組みだと思う。(40代男性)</p>
【担当者コメント】	<p>今回は10回という節目の年で、「天下統一大会」ということで全国150作品以上の中から予選を勝ち抜いた劇作家11名と歴代劇王5名の計16名による決戦となった。歴代劇王はさ須がの貫録であった。また、各地区のチャンピオンたちも勝ち抜いてきた実力は高く観客・審査員共に満足する作品ばかりであった。観客も各プログラム・決勝戦はほぼ満席となり、北海道から四国や九州からと全国からの来場があり、例年以上の盛り上がりとなった。</p> <p>決勝戦では開演前に各地区の劇王の証を手にした16名の劇作家が舞台に並び、今回の劇王の壮大さを物語った。決勝戦には平塚直隆、柴幸男、鹿目由紀の劇王3名と九州地区代表の福田氏が激突した。それぞれ事前の審査員からのアドバイスを受け、そのことを踏まえ内容を変えて臨んだ。その結果、柴幸男氏が『劇天』の栄冠を手に入れた。アンケートにも今後も続けて欲しいとの声も多いため、この事業の期待の大きさが伺え、10回続けてきた結果は出ているのだと感じた。</p>
【備考】	投票結果 Aプロ:平塚直隆 Bプロ:柴幸男 Cプロ:福田修志 Dプロ:鹿目由紀 決勝:柴幸男



# 自主事業報告書

公 演 名	エデュケーション・プログラム「小学校であーと」
日 時 / 場 所	平成25年2月20日(水)長久手小学校、21日(木)西小学校
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	Polygon Brass(愛知県立芸術大学音楽学部生による金管五重奏) 寺田康佑(トランペット・3年) 坂本勇(トランペット・2年) 山田一輝(ホルン・4年) 宮原健輔(トロンボーン・4年) モンテロ・タケン(チューバ・1年)
内 容	ウィリアム・テル序曲(ロッシーニ作曲) 星に願いを 金管五重奏曲第1番より(アーノルド作曲) ほか
席 設 定	一 席
入 場 者 数	長久手小学校 3クラス 計120名程度 西小学校 2クラス 計80名程度
入 場 率	
チケット発売日	
チケッ トの 種 類 及 び 価 格	学校へのアウトリーチ事業につきチケットなし
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・たった5人だけで、あんなにすごいなんて、思っていませんでした。また、見たいと思いました。</li> <li>・えんそうは、目の前できくと思っていたよりはくりよくがあったので、びっくりしました。</li> <li>・えんそうの音色がとてもきれいでした。知っている曲がいっぱいあって聞いていてとても楽しかったです。ぼくは金管楽器の音が好きなので、今日こうやって聞けてよかったです。しかもホルンもふけて、すごく楽しかったです。</li> <li>・ぼくは、あの人たちを見てすごいなあと思いました。なぜすごいのかと言うとぼくはぜんぜんふけないがっきを使ったからです。</li> <li>・今日のであーとはとても楽しかったです。とくに最後の曲(アーノルドの金管五重奏曲)には感動しました。</li> <li>・私はポリゴンブラスさんにあって、いまこてきをやっていないけど中学になったら部活をこてきにしようとおもいます。</li> </ul>	
【担当者コメント】	
<p>昨年度より開催している小学校でのアウトリーチ事業「小学校であーと」は、昨年度1校のみでの開催であったが、今年度は1校増加し2校での開催となった。愛知県芸術大学と連携して学生が行った。社会と芸術の関わりを学ばせるためにアウトリーチの意味やプログラムの打合せなどを複数回行ったうえで本番に臨んだ。4年生を対象に楽器の仕組みや歴史の紹介を交えながら、演奏をした。中でも楽器体験コーナーでは、大きな盛り上がりを見せた。その後、給食の時間に全学年の教室をまわるゲリラ演奏も行った。子どもたちは初めての音楽に対し集中して聴くことができ、素直な反応をしめしていた。今後は徐々に開催校を増やし、最終的には市内全小学校で開催できるようにしたい。</p>	

# 自主事業報告書

公演名	JAZZ長久手～やっぱりジャズはイイ！
日時 / 場所	平成 25 年 2 月 23 日 (土) 18 時00分開演 風のホール
事業の種類	自主創造事業・鑑賞事業
出演者	小濱安浩(Ts)奥村和彦(Pf)、井上功一(Dr.)、安東昇(B) ※ゲスト 田口美郷(パーカッション/創造スタッフ)
内容	【関連イベント】 レクチャー「さあ、ジャズを聴こう！」Vol.2 日時 2013年2月6日(日) 14:00 開演(120分) 会場 光のホール お話 山東正彦(内田修ジャズコレクション・ディレクター) 入場無料 ※ただし、本公演チケットが必要
席設定	280 席
入場者数	265 人 (完売) ※プレイベント 70/100席
入場率	95 %
チケット発売日	一般 12 月 8 日 フレンズ 12 月 1 日
チケットの種類及び価格	前売一般1,500円、フレンズ1,200円、学生1,000円 当日一般・フレンズ1,800円、学生1,200円 全自由席
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めてのジャズでしたがとても楽しめました。(29歳/男性)</li> <li>・毎月やってください。長久手がジャズに力を入れているとは。(67歳/男性)</li> <li>・主人が聴いているCDは正直うるさいわーと思っていましたが、息づかいまで感じられ生は最高！(62歳/女性)</li> <li>・最近、文化の家でJAZZの公演が多く感謝しています。(66歳/男性)</li> </ul> ほか	
【担当者コメント】	
<p>新企画「Jazz in the Room」でジャズを身近に感じ、それをきっかけに本格的なライブを体験する、という流れをつくるため「JAZZ長久手」を企画した。前者に続いて、この公演も完売した。名古屋で活躍するサックス奏者の小濱氏を中心に、全国から集まった骨太ミュージシャンたちは知名度とは無縁の存在だが、こうした本物のアーティストのパフォーマンスに多くの聴衆が触れることの意味は大きい。ステージ上でのトークは最低限で、黙々とジャズにのめり込み客席をも巻き込んで熱を帯びて行く様子は、まさにジャズのライブならではのことで大いに盛り上がった。ゲストにパーカッショニストで創造スタッフの田口美郷が加わり紅一点若々しさで花を添えた。プレイベントとして、長久手在住の内田修コレクションの紹介を岡崎市の協力を得て行い先回を上回る入場者となった。</p>	

# 自主事業報告書

公 演 名	長久手市合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute 第15回定期演奏会
日 時／場 所	平成25年2月24日(日) 14時00分開演 森のホール
事業の種類	自主創造活動事業
出 演 者	大竹広治(指揮)、野々山雅子(ピアノ、オルガン)、 松波千津子(ソプラノ)、三輪陽子(アルト)、毛利和雄(テノール) 又吉秀和(バス)、take chamber orchestra(演奏) ニューセンチュリーコーラスNagakute団員(合唱)
内 容	harmony town 長久手(松本洋・河村彩乃作詞／coba作曲) 混声合唱による日本叙情歌曲集より抜粋(林光編曲) 混声合唱とピアノのためのおわりのない海 (工藤直子作詞／信長貴富作曲) Messe in B(D.324-op.post.141)(シューベルト作曲)
席 設 定	675席
入 場 者 数	456人
入 場 率	67.56%
チケット発売日	一般 12月 8日 フレンズ 12月 1日
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	前売 一般1,000円 フレンズ800円 当日 一般・フレンズ1,200円 全自由席
<p><b>【鑑賞者評価】</b>(当日公演アンケートから)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしい歌声で豊かな気分になりました。有り難うございます。(60代女)</li> <li>・選曲など、指揮者の方の心が伝わる演奏会でした。とても良かったです。(60代男)</li> <li>・ソプラノは一部の人の声が際立ち、他の声が消えてしまっている。(40代女)</li> <li>・10年以上コーラスを続けていましたが、遠のいていた。また歌いたくなりました。楽しい時間を有り難うございました。(60代女)</li> <li>・長久手応援ソングをはじめ聴いたが、とても良かった。毎回聴きたい。(70代男)</li> <li>・思ったよりもコーラスのレベルが高かったのが良かった。女声コーラスの中で数名すごく発声の上手な人が見えた。(60代男)</li> </ul>	
<p><b>【担当者コメント】</b></p> <p>今回は前年に引き続き、日本の名曲、ミサ曲、そして長久手応援ソングなどの演奏を行った。長久手応援ソングは、昨年に歌詞を一般公募し、アコーディオニストのcobaさんが作曲したもので、アンケートにおいても好評であった。また、「おわりのない海」は詩の内容はもちろん、曲の壮大さや雄大さを表現したいとの思いを込めたものであった。</p> <p>音楽の豊かさや迫力を重視しての演奏であったが、アンケートにも数件あったように、一部の団員の声が突出しており、音の響きを揃える必要があると感じた。よりよい演奏会のための今後の練習課題の一つと考える。</p>	
<p><b>【備考】</b></p> <p>ガレリアコンサートVol.101「幼い頃を思い出おこす調べの数々」 平成25年2月3日(日)正午から</p>	

# 自主事業報告書

公演名	橋寛憲針金造形作品展「ワイヤアリウム」
日 時	平成25年2月26日(火)～3月3日(日)10時～19時まで (最終日は17時まで)
事業の種類	自主創造活動事業
会 場	文化の家 展示室
入 場 者 数	714人
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"><li>• 作品がみんな1本の針金できていると聞き、すごいと思いました。</li><li>• 子どもが遊べる作品(ビー玉を転がすもの)もあり、子どもが喜んでいました。大人も楽しかったです。</li><li>• こんな作品展は初めてです。感動しました！</li><li>• 素人でも制作をできるワークショップのようなものがあったら、参加したいと思いました。</li></ul>
【担当者コメント】	<p>創造スタッフの橋寛憲氏による、針金作品のみによる展覧会。コンセプトは“いきもの”であり、針金という一見無機的な素材を使いつつも、温かみのある作品たちが並べられた。</p> <p>会期中は橋氏が可能な限り在廊し、来場者に作品の説明をしたり、時には制作をその場で実演したりし、人々を楽しませた。</p> <p>今年度の夏には子ども対象に、可動式の針金製オオクワガタを作るワークショップを行っており、そちらも好評であったことから、次年度も橋氏の企画に期待したい。</p>

# 自主事業報告書

公演名	長久手市劇団座★NAGAKUTE第24回公演あっ！みっどさま～ないつどり～む
日時 / 場所	平成25年3月9日(土)19時開演、10日(日)14時開演 森のホール
事業の種類	育成事業
出演者	長久手市劇団座★NAGAKUTE
内容	演劇
席設定	349席
入場者数	3/9 166人 3/10 224人
入場率	56 %
チケット発売日	一般 12月 8日 フレンズ 12月 1日
チケットの種類及び価格	一般:前売1,200円 当日1,500円 フレンズ:前売1,000円 当日1,500円 高校生以下:前売800円 当日1,000円 全自由席
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
<ul style="list-style-type: none"><li>・夏の夜の夢を現代にしたら・・・みたいな感じでとても楽しめました。</li><li>・内容がよく分からなかった。声が聞こえにくかった。演者の顔はあえてみせないようにしてたのか？</li><li>・パックのイメージに違和感があったものの、面白かったです。</li><li>・衣装、音楽面白かったです。</li></ul>	
【担当者コメント】 今年の演目は、座員の話し合いによりシェイクスピア作、松岡和子訳「夏の夜の夢」に決定した。幼い妖精役を団員中最年長の女優が務めるなど、ところどころに佃氏の演出が垣間見え、来場者を驚かせた。 昨年同様森のホールにて開催したが、舞台美術の都合上、左右、上方からの見切れ席が多く、それでも席に余裕があった。回収率も芳しくないことから、次年度以降は広報活動をますます努力していきたいと思います。	

# 自主事業報告書

公演名	平成24年度長久手市文化の家アートスクール発表会 舞台の部 「戯曲セミナー優秀短編戯曲上演会『逢魔が市の山盛り蕎麦』」
日時 / 場所	平成25年3月16日(土) 19時開演 風のホール
事業の種類	育成事業
出演者	■第1話「ソーダ」作・山田直子 裕子:舟橋”委員長”慶子(シアターUNA!) 千鶴子:小林公三枝(受講生) 吉江:小関道代(劇団ジャブジャブサーキット) 辰夫:大西昌治(受講生) ■第2話「ぶらいしまい」作・市瀬佳子 姉:空沢しんか(フリー) 妹:加藤祐子(音声劇団RAM) 男:コヤマアキヒロ(劇団ジャブジャブサーキット) ■第3話「逆、必ずしも真ならず」(ドラマリーディング) 作・森田四五六 綾音:川上珠来 里奈:小林公三枝(受講生) ■第4話「全て蚊帳の中」作・傍島利一 敏子:日坂朱里(受講生) 猛男:渡山博崇(星の女子さん) 澄子:中島緑 宏雄:久川徳明(劇団翔航群) ■第5話「お見合い」(ドラマリーディング) 作・大西昌治 哲男:大東龍志 絵里:舟橋”委員長”慶子(シアターUNA!) ■第6話「半睡街の住人たち」作・真川輝子 ヒナ:川上珠来 ハル:刈馬カオス(刈馬演劇設計社) 千秋:渡山博崇(星の女子さん) 蓮見:ヤストミフルタ(空色シネマ) 鹿島:山本史子(受講生)
内容	戯曲発表会
席設定	280 席
入場者数	92人
チケットの種類及び価格	無料
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	<ul style="list-style-type: none"><li>・一度に色んな作品が観れて楽しめました。(市外・20代・男性)</li><li>・真川さん、不思議な作品でした。おもしろかったです！(市外・40代・女性)</li><li>・プチデザートの感じがするこの企画、けっこう楽しみです。(市外・男性)</li></ul>
【担当者コメント】	今回の公演では、6作品(うちドラマリーディング2作品)が上演された。それぞれの作品に個性があらわれており、異なるテイストを楽しむことができた。上演に際しては、予算が限られているため、大道具はありもので工夫し、舞台スタッフも受講生や出演者が行っている。はせさんの演出と、受講生に加え普段劇団で活動する役者も多数出演することから、この公演は入場無料の発表会とはいえ、その質の高さが評価されている。しかし、来場者は92名と伸び悩んだ。来年度以降、広報面の課題も解決していきたい。

# 自主事業報告書

公演名	平成24年度長久手市文化の家アートスクール発表会 展示の部
日時	平成25年3月12日(火)～3月17日(日)10時～17時まで
事業の種類	育成事業
出展者	平成24年度長久手市文化の家アートスクール受講生
内容	絵画、子ども美術・造形
会場	文化の家 展示室
入場者数	393人
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"><li>・子どもたちの楽しそうな作品で笑顔になれます。</li><li>・かわいい作品ばかりで楽しく見させていただきました。</li><li>・皆さんお上手でした。</li></ul>
【担当者コメント】	<p>今年度は、昨年度開講していた「写真を撮ろう!」「日本画」「フラワーデコレーション」が無く、「絵画」と「子ども美術・造形」のみの展示会となった。それでも、両講座とも点数は多く、壁面が余ることはなかった。</p> <p>絵画講座は、搬入から搬出まで受講生が関わっていて、作品展は作品を完成させて終わりでないことをも教えていた。子ども美術・造形講座は、搬出に来られない受講生が多く、残った作品を格納する作業が発生した。例年、そのまま作品を回収しに来ない受講生もいるため、次年度に向けて検討する必要がある。</p>

# 自主事業報告書

公演名	平成24年度長久手市文化の家アートスクール発表会 舞台の部
日時／場所	平成25年3月17日(日)13時開演 森のホール
事業の種類	教養事業・育成事業
出演者	アートスクール受講生
内容	「フルートアンサンブル(初級者向け)／(中級者向け)」 「チェロアンサンブルの愉しみ」 「クラシックギター」 「レイトスターターのためのバイオリン講座」・「ジュニア弦楽アンサンブル講座」 「子どもクラシックバレエ(小1・2)／(小3～中学生)」・「大人クラシックバレエ」の発表
席設定	517席
入場者数	554名(延べ)
チケットの種類及び価格	入場無料／整理券なし
<b>【鑑賞者評価】</b> (当日公演アンケートから) ・想像以上に良かったほか	
<b>【担当者コメント】</b> 今年度は例年開講しているフルート・バイオリン・バレエ講座に加え、新たに開講したチェロ・クラシックギターの講座も加わり、色々なジャンルの音楽が楽しめる発表会となった。 開講したチェロ・クラシックギターは講座開始当初は楽譜を読めない生徒もいたぐらいであったが、発表できるまで上達しており毎回の講座を熱心に受講し、練習したことが窺われた。今年度でレイトスターターによるバイオリン講座が終了するため、受講生は「卒業発表会」と位置づけ発表会に臨んだ意気込みが感じられる舞台となった。またバレエ講座については、伴奏すべてをジュニア弦楽アンサンブル講座が行い迫力がある舞台が作られた。 今年度は席取り問題など解消のため、バイオリン講座・バレエ講座を後半に固めたためトラブルはなかったが、自分たちの出演待ちの時間に楽屋で騒いでしまうなど舞台の進行に支障をきたしてしまったため、発表順などを考え直す必要があると思われる。	



# 自主事業報告書

公演名	室内で聴こう！シリーズ2012 カルテットの魅力は一生モノ！
日時 / 場所	平成24年6月7日(木)～平成25年3月6日(水) 各回20時開演 展示室
事業の種類	鑑賞事業
出演者	Quartett ATOM 平光真彌(1stヴァイオリン)、新谷歌(2ndヴァイオリン)、 吉内紫(ヴィオラ)、山際奈津香(チェロ) 山田亮(トーク/創造スタッフ)
内容	①6/7(木)展示室 ハイドン:弦楽四重奏曲 ニ長調 作品50-6 「蛙」 ②8/30(木)展示室 ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第11番 ヘ短調「セリオース」 ③11/28(水)展示室 メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲第2番 イ短調 作品13 ④3/6(水)展示室 ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲第12番 ハ短調 作品96「アメリカ」
席設定	240席(各回60席)
入場者数	231人 ①55名 ②64名 ③56名 ④56名
入場率	97%
チケット発売日	一般 4月 7日 フレンズ 4月 14日
チケットの種類及び価格	通し券3,000円 各回1,000円
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな音色(ナマに限る)、ダイナミクス、表現力、最高でした。企画も良かった。(60代/男性)</li> <li>・4回すべて参加しました。自分の触れたことのない音やハーモニーを聴けるのはすごくうれしいことです。(39歳/女性)</li> <li>・とてもよかった。練習のさんこうになった[バイオリンをやっている](10歳/男の子)</li> <li>・前の人のかげでしっかり演奏の様が見えないので少し残念でした。(複数)</li> </ul> ほか	
<b>【担当者コメント】</b> 昨年に引き続き「室内楽を室内で聴く」というコンセプトでカルテットのコンサートを4回シリーズで行った。出演は愛知県立芸術大学出身者によるカルテットATOMで、このシリーズの間に助成金の授与やコンクールでの優勝など、飛躍的な成長を遂げ全国的にも注目を集めた。同グループは、高い集中力と音楽づくりへの真摯な取り組みによって各回高いレベルの演奏で聴衆をカルテット作品の深い領域へと誘った。定例として創造スタッフの山田亮氏と出演者のプレトークが行われた。また、会場の演奏位置についてアーティスト側の希望に沿った結果、聴衆からは見づらくなったという意見が生じ、演奏環境とこの企画のコンセプトのバランスの点で課題を残した。集客は当初の50席設定を60席に増やし毎回ほぼ満席となった。客層も幅広く、小さなお子様も増えてきた。好評につき来年度も継続する。	

# 自主事業報告書

公演名	室内で聴こう！シリーズ2012 [ジャズ編] JAZZ in the Room
日時 / 場所	平成24年5月6日(日)～平成24年12月19日(水) 音楽室及び風のホール
事業の種類	鑑賞事業
出演者 内容	● 5/6(日) 14:00～15:30 光のホール プレイベントレクチャー「さあ、ジャズを聴こう！」 講師：山東正彦(内田修ジャズコレクション主任専門員) ① 6/6(水) 20:00 音楽室 「気軽にジャズコンサート～童謡もJAZZになる?!」 Donny Schwekendiek Trio ダニー・シュエッケンディック(ピアノ)、北浦寛(ベース)、夏目純(ドラム) ② 7/25(水) 17:00 風のホール 「楽しくJAZZ夏！～親子でスウィング！」 小林美代子(サクソ)、倉田大輔(ドラム)、出宮寛之(ベース)、渡辺ショータ(ピアノ) ③ 10/10(水) 20:00 音楽室 「秋の夜長～ちょっとオトナの気分」 森剣治(サクソほか) 納谷嘉彦(ピアノ) Duo ④ 12/19(水) 20:00 音楽室 「クリスマスJAZZ！～良いお年を！」 Junko(ヴォーカル)、風呂矢早織(ピアノ)、日景修(ベース)、浅井翔太(ドラム)
入場者数	375名(完売) ●55/100 ①54/60名 ②161/200名 ③56/60名 ④49/60名
入場率	78.12 %
チケット発売日	一般 4月14日 フレンズ 4月7日
チケットの種類及び価格	各回1,000円(②のみ子ども500円) プレイベントは無料(但しシリーズの公演チケットが必要)
鑑賞者評価(当日公演アンケートから)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな近くでできるなんて、とてもうれしい。楽しい企画をありがとう。(35歳/女性)</li> <li>・内容も楽しく、チケット代、演奏時間等もとても良かった!(59歳/女性)</li> <li>・おんぼくではじめてJAZZをきいてとても良かったので参加しました。とても楽しかったです(42歳/女性)</li> <li>・たのしかった・かっこよかった・している曲があった!(8歳/女の子)</li> <li>・ほか</li> </ul>	
【担当者コメント】 「室内で聴こう！」シリーズのクラシック編(カルテット)の好評を受けて、新しくJAZZ in the Roomと題してジャズを間近で聴くライブを企画した。ジャズは数十人程度の空間(ライブハウス)で聴衆と親密に育まれてきた背景に着目した。ミュージシャンは地元の若手からベテランまでの実力者たち。発売日から早々に4公演中3公演が完売した。この地域におけるジャズの需要が新たに浮かび上がったと言えよう。長久手にはドクタージャズ内田修先生が在住しており、岡崎市と連携してドクターの貴重なコレクションを紹介するプレイベントも行い好評を博した。また、2年前に行った「おんぼく」でジャズを取り上げたことで、親子連れも多かった。地域密着型のジャズイベントの可能性を見出し、今後につなげたいと思う。なお、公演②の出演者は、前月に「中学校であーと」にてアウトリーチを行い、1年生489名が5クラスに分かれて間近にジャズを体験した。	